

しもかわ財団の活動紹介

「つなぎ・ささえ・つくる」

■お問い合わせ

総務企画課 企画調整係 ☎4-2511 内線232

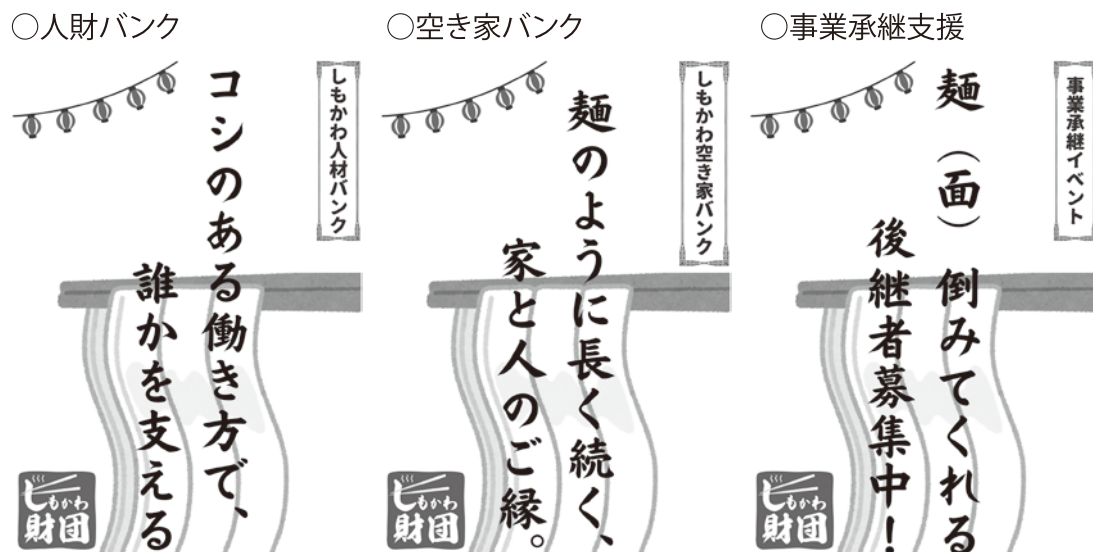
しもかわ地域振興機構（通称…しもかわ財団）☎4-3511

うどん祭りにぎわい市に出展しました

昨年しもかわ財団が設立され1年半が経ち、これまで広報紙・スマホ役場等で取組みやイベント情報を紹介してきましたが、よりみなさんに馴染みのあるしもかわ財団を目指するため、8月30日・31日に開催されたうどん祭りにぎわい市に、しもかわ財団の取組を紹介するブースを出展しました。

当日は、取組内容等をパネルで紹介したほか、各種パンフレット・イベントチラシの配布、定住促進施策アンケート等を実施しました。パネル紹介では少しでもみなさんの目に留まりやすく、取組みに興味をもってもらえるようなパネルを作成しました。また、アンケートでは、来場いただいた方々のご協力により、145人の方に「ご回答いただきました。ありがとうございます。しもかわ財団では、引き続き「つなぎ、ささえ、つくる」を行動指針に移住・定住施策に取り組みでまいります。

展示したパネルの一部を紹介



当日の写真



困りごとを気軽に共有できる地域に。下川ふるさと興業協同組合・横井雅彦さん

下川でのリアルな暮らしぶりを町内の方にお話ししていただくコーナー。今月は下川にUターンし、地域の産業振興に奮闘する横井雅彦さんです。



下川に帰ってきたのは3年前です。もともと「いつか下川には帰ろう」と思っていました。2020年にコロナが流行ったのをきっかけに帰ろうと決めました。父が頑張っていた下川ふるさと興業協同組合の仕事を手伝うと決めた。なんと、なんと、なんと、ずっと頭の片隅で思っていたし、若いうちの方が身体も元気で動けるし、帰るなら今かもしれないと思ったんです。多い時は月に1回くらいの頻度で地元へ帰省していましたが「下川、もっとやれるぞ」と感じていたし、ふるさと興業が発展できるようなことにも挑戦した

いと思って。あと、大好きなアポロのボンゴレをいつでも食べられますしね（笑）。
下川ふるさと興業協同組合は、今年で41年目です。今は熊笹やイタダリの商品開発や地元の特産品の後押し販売、バスターミナルや水処理施設の管理もうちがやっています。それから新しい事業として、町の農家さんで廃棄しているものを活用できる道を探したり、空き地を借りてシソの栽培をしたり。子どもの頃って「下川のため」とか、あまり考えていなかったんです。大人たちが楽しそうに町だなどとはずっと感じていました。どんなに大変なことでも真剣に取り組んでいたという。アイスクリームミュージアムのは、万里長城にアイスクリームを一通り並べて火をつけ終わったら、地元のおじさんたちがうどんを一杯ふるまってくれました。そういうの、なんかいいですね。
昔に比べたら、うちの父親の

世代（60〜80代）の人たちから下の人口はすごく少ないです。引き継がないといけないものがたくさんあると思います。ただ、おもしろい町なのは変わっていないです。下川を好きで住んでいる人たちが多くから、移住してきた人たちは特に僕より下川に詳しいですし、それが嬉しい。下川が好きで、暮らしを楽しんでいる人たちを見ていると、楽しい気分になりますね。僕としては、商工業に関して何かやってみたいことや困っていることがあれば、ふるさと興業に来ていただければ何かお手伝いできるかもしれないですから、気軽に声をかけてほしいです。

SHIMOKAWA-JIN
しもかわ人
名鑑
MEIKAN